



ランピースキン病が済州島にて発生しました

- ランピースキン病は全身の皮膚の結節や水腫を特徴とする牛、水牛の疾病です。
- 令和6年(2024年)11月に福岡県において国内初の発生が確認され、その後、福岡県の発生農場から導入した牛に起因して、熊本県の菊池地域の3農場において発生しました。
- 発生当時は家畜伝染病予防法上の届出伝染病であり、自主とう汰や移動の自粛が求められていましたが、法改正により**家畜伝染病に格上げされ、殺処分、移動制限等が義務付けられました**。これに伴い、ランピースキン病防疫対策要領も改正されました。
- 本病は、サンバエ、ヌカカ等の吸血昆虫(ベクター)による感染が主であり、**平時から、昆虫成長制御剤(IGR剤)や殺虫剤散布等による吸血昆虫対策が重要です**。



韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2026年9月11日時点)

忠清南道

最新発生日: 2026年8月7日

発生件数: 1件

感染頭数: 7頭

※ 2026年における初発日: 8月7日

全北特別自治道

最新発生日: 2026年8月26日

発生件数: 3件

感染頭数: 13頭

※ 2026年における初発日: 7月10日

全羅南道

最新発生日: 2026年9月7日

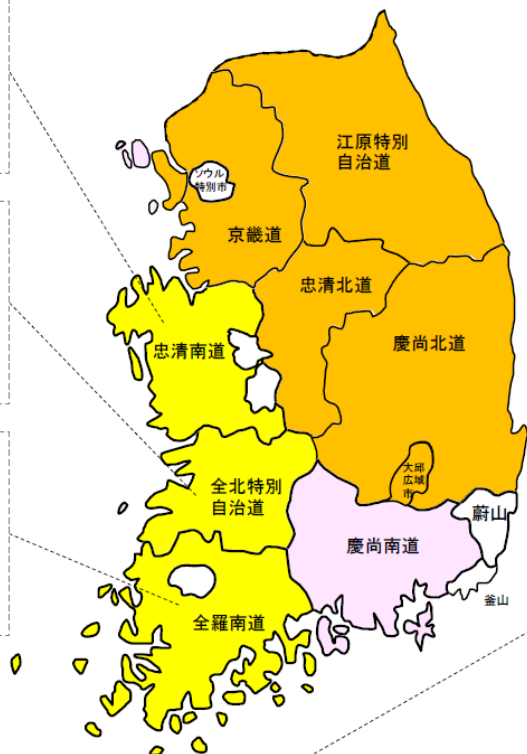
発生件数: 11件

感染頭数: 50頭

※ 2026年における初発日: 7月30日

発生状況

	発生件数	殺処分 対象頭数
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-
2026年	17件	-



済州特別自治道

最新発生日: 2026年9月8日

発生件数: 2件

感染頭数: (確認中)

※ 2026年における初発日: 9月8日

農林水産省動物衛生課

出典: WOA-H-WAHIS, KAHIS (Korea Animal Health Integrated System)、韓国当局公表資料等を基に作成

黄色: 2026年に発生が確認された行政区画
オレンジ: 2024年に発生が確認された行政区画
ピンク: 2023年に発生が確認された行政区画

異状を発見した際は速やかに家畜保健衛生所に通報してください!

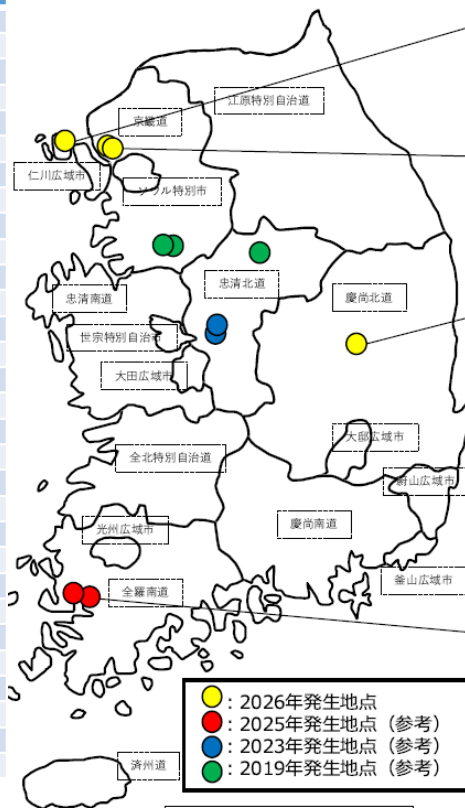




韓国で口蹄疫が発生

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月以降）

	発生日	場所	動物種	飼養頭数
1	'25/3/13	全南 靈岩郡	牛	184
2	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	15
3*	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	471
4	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	31
5	'25/3/15	全南 務安郡	牛	88
6	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	365
7	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	25
8	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	100
9	'25/3/18	全南 靈岩郡	牛	49
10	'25/3/18	全南 靈岩郡	牛	25
11	'25/3/19	全南 靈岩郡	牛	125
12	'25/3/19	全南 靈岩郡	牛	835
13	'25/3/20	全南 靈岩郡	牛	43
14	'25/3/23	全南 靈岩郡	牛	31
15	'25/4/10	全南 務安郡	豚	5,223
16	'25/4/10	全南 務安郡	豚	1,736
17	'25/4/12	全南 務安郡	豚	1,951
18	'25/4/12	全南 務安郡	豚	1,931
19	'25/4/13	全南 務安郡	豚	3,216
20	'26/1/30	仁川 江華郡	牛	246
21	'26/2/20	京畿道 高陽市	牛	130
22	'26/2/28	京畿道 高陽市	牛	168
23	'26/7/3	慶北 醴泉郡	豚	5,500
24	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	186
25	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	81
26	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	130
27	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	39
28	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	72
29	'26/9/2※	慶北 醴泉郡	牛	46
30	'26/9/2※	慶北 醴泉郡	牛	86



仁川広域市（1件） 2026年1月30日 江華郡 牛：1件（O型）
京畿道（2件） 2026年2月20日 高陽市 牛：1件（O型） 2026年2月28日 高陽市 牛：1件（O型）
慶尚北道（8件） 2026年7月3日 醴泉郡 豚：1件（O型） 牛：5件（O型） 2026年9月2日※ 醴泉郡 牛：2件（血清型確認中）
全羅南道（19件） 2025年3月13日（確定日は14日） 靈岩郡 牛：1件（O型） 2025年3月14日（確定日は15日） 靈岩郡 牛：3件（O型） 2025年3月15日（確定日は16日） 務安郡 牛：1件（O型） 2025年3月17日 靈岩郡 牛：3件（O型） 2025年3月18日 靈岩郡 牛：2件（O型） 2025年3月19日 靈岩郡 牛：2件（O型） 2025年3月20日 靈岩郡 牛：1件（O型） 2025年3月23日 靈岩郡 牛：1件（O型） 2025年4月10日 務安郡 豚：2件（O型） 2025年4月12日 務安郡 豚：2件（O型） 2025年4月13日 務安郡 豚：1件（O型）

出典：韓国農林畜産食品部、WOAH
注：日付はWOAH報告の発生日又は韓国当局発表の発生日（検体採取日）（※）
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

- 韓国において7月3日に約4か月ぶりとなる口蹄疫の発生が豚1件、牛5件で確認されました。加えて、**9月2日**に同地区にて牛2件の発生が確認されています。

動物検疫所で摘発された畜産物から、感染性口蹄疫ウイルスを分離

- 本年1月に、中国から新千歳空港に到着した**旅客の荷物内**から、発見されたヤギ肉について、動物検疫所の職員が全量回収したうえ精密検査を行ったところ、**感染性のある口蹄疫ウイルス**が分離されました。本件については、既に4月に公表していましたが、今月の農水省主催の防疫対策会議にて言及があったので、現在報道されているところです。
- 水際での防疫措置の徹底により、重大な家畜伝染病の侵入を食い止めることは極めて重要で、今年度においても、人員を増員し入国者の携帯品についての質問・検査、発見された違反畜産物の廃棄、輸入検査にかかる違反についての罰則適用などに対応しています。
- **発生地域への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域内に持ち込まないようにしましょう。



異状を発見した際は速やかに家畜保健衛生所に通報してください！

